

メールマガジン 2023年11月

アドヴェントを迎える時期となりましたが、お変わりありませんでしょうか。ケルン市内の各所ではクリスマスマーケットが既に開催されています。みるみるうちに日没が早くなり、太陽があまり顔を出さない灰色のこの時期にマーケットが立つと廻りの風景が明るくなり元気をもらえます。

10月は「信徒の友」誌10月号に、我が教会の祈りの課題を掲載して頂き、覚えてくださった教会や個人の方々から、励ましの寄せ書きが日本から届けられ感謝でいっぱいです。この場をお借りして心からお礼申し上げます。祈りのリクエストは、「献身者が起こされたので、その方の学びのためと、献身者を支えることによって教会が成長していけますように」です。祈りに支えられて一步步前進して参ります。

11月1日・「蚤の市」(バザーという名称を昨年より変更)を、大勢の方々のご協力により開催することができました。今年の大きな恵みは、有志の方々によるプロ並みの手作りお惣菜やお菓子等の献品を沢山頂いたことです。「年に一度、こうしてお役に立てることが嬉しいのです。そのことで私たちの心が清くなるような気がして感謝です。」と仰ってくださるので、来年に繋げる力となります。総売り上げは、2,643,76 ユーロ。諸経費・85,63 ユーロを除いて、2,558,13 ユーロを福祉施設に献金することができました。因みに日本円に換算すると、現在円安のために約42万円となります。金額にはこだわりませんが、矢張り沢山お捧げできることは嬉しいものです。何方かの助けになることの幸いを皆さまと分かち合うことができました。

11月6日～9日迄、欧州にある日本語による教会、集会に携わっている教職者たちが集まり研修会が開催されました。今後の課題は、私を含めて日本から派遣されている牧師たちが次々と日本へ本帰国の予定で、過渡期を迎えていることです。しかし、新たな歩みとして長い間、日本で宣教されていたドイツ人牧師が故郷に戻られてこの交わりに参加しています。ドイツの教会で育ち学ばれた先生方からのお話は日本人として多くの発見があって良き学びとなりました。

さて、今月末には、バルセロナ日本語集会のズームによる礼拝、またブリュッセル日本語教会のファミリー礼拝でのご奉仕のために出かけます。其々、牧者のいない群れが主によって支えられますようにお祈りください。

日本も寒さが増してくる頃と思います。更に主に守られてお元気にアドヴェントをお迎えできますようにお祈りいたします。

「支える会」のホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>



欧州教職者研修会
トロンボーンによる特別賛美も♪



日本から届けられた寄せ書き
「祈っています!!」と。



大勢の方々の思い詰まった
「蚤の市」

